様式第13（第17条、第78条、第126条及び第144条関係）（平29経産令15・追加）

燃焼性測定記録表

<table>
<tr><td colspan="2">試料
ガス</td><td colspan="2">測定
場所</td><td colspan="2">測　定
年月日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="7">燃焼速度</td></tr>
<tr><td colspan="3">比　　重</td><td colspan="2">熱　　量</td><td>ウォッベ指数</td></tr>
<tr><td colspan="3">測定者</td><td colspan="2">測定　時　分から
時間　時　分まで</td><td colspan="2">測定　時　分から
時間　時　分まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブンゼン―シリング法
空気の流出時間
$T_a = \frac{I}{II}$ …秒
試料ガスの流出時間
$T_s = \frac{I}{II}$ …秒
$\frac{T_s^2}{T_a^2} = \frac{I}{II}$ …
水温　　℃
補正値
$\alpha = \frac{I}{II}$ ……
比重S
$= \frac{T_s^2}{T_a^2} + \alpha$</td><td colspan="2">比重びん法
内部を真空にした比重びんの質量
$W_v = \frac{I}{II}$ …グラム
比重びんの質量
$W_b = \frac{I}{II}$ …グラム
乾燥空気を満たした比重びんの質量
$W_a = \frac{I}{II}$ …グラム
試料ガスを満たした比重びんの質量
$W_g = \frac{I}{II}$ …グラム
比重びんが排除する空気の体積
$V_t = \frac{I}{II}$ …ミリリットル
比重びんの真空中における質量
$w_b = \frac{I}{II}$ …グラム
乾燥空気を満たした比重びんの真空中における質量
$w_a = \frac{I}{II}$ …グラム
試料ガスを満たした比重びんの真空中における質量
$w_g = \frac{I}{II}$ …グラム</td><td colspan="2">総発熱量H_g
＝
$\frac{\text{メガジュール}}{\text{立方メートル}}$</td><td>ウォッベ指数
$= \frac{H_g}{\sqrt{S}}$
＝</td></tr>
<tr><td rowspan="3">S</td><td>I</td></tr>
<tr><td>II</td></tr>
<tr><td>平均値</td></tr>
<tr><td colspan="2">ガスクロマトグラフ法</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">（様式第11から転載）</td><td colspan="2">比重
$S=\frac{wg-wb}{wa-wb}$</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">S</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">S</td><td>Ⅰ</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>Ⅱ</td></tr>
<tr><td>平均値</td></tr>
</table>

備考１　「比重」の項については、「ブンゼン―シリング法」、「比重びん法」又は「ガスクロマトグラフ法」のいずれかの項について記載することとし、液化石油ガスを原料として発生させ、これに空気を混入したガスを供給する場合にあつては、Ｓの欄のみを記載することをもつて足りる。

２　「熱量」の項については、様式第10又は様式第11から転載すること。